

平成26年度北海道地域マッチングフォーラム開催要領

業務用、加工用水稻新品種と研究開発の新たな展開

1. 趣旨

「農林水産業・地域の活力創造プラン」がとりまとめられ、国内外の需要の拡大、需要と供給をつなぐ付加価値向上のための連鎖の構築、など4つの柱が謳われています。このなかで農作物の生産に関して、政策の展開方向では、国内需要について消費者の視点、需要に応じた農林水産物を供給する発想の重要性が述べられ、そのための具体的施策では、新たな国内需要に対応した生産物・食品、新品種、新技術の開発・普及などが挙げられています。

このような情勢を鑑み、平成26年度北海道地域マッチングフォーラムでは水稻の新品種をテーマとして、新たな需要への対応が期待できる加工用新品種及び大きな国内需要に対応できる業務用新品種を紹介するとともに、将来に向けた取り組み、そして流通の立場からのご意見を交えて活発な意見交換を行い、新品種の普及、流通に向けたマッチングを行います。

2. 開催日時 平成26年12月4日（木）13：15～17：15（受付12：00～）

3. 開催場所：KKRホテル札幌

（札幌市中央区北4条西5丁目1番地）

4. 主催：農林水産省農林水産技術会議事務局、

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター

協賛：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局、北海道、北海道立総合研究機構農業研究本部、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道農産物集荷協同組合、北海道米麦改良協会、NPO 法人グリーンテクノバンク

5. 対象：生産者（生産者団体を含む）、行政・普及関係者、関係研究者、関係団体・企業、消費者、その他、水稻の生産及び流通利用に関心のある方

6. 参加料：無料

7. 参加定員：150名

8. 議事次第

総合司会：農研機構 北海道農業研究センター企画管理部長

(1) 開会挨拶 (13:15~13:25)
農林水産省技術会議事務局
農研機構 北海道農業研究センター所長

(2) 講演 (13:25~16:15)
座長：農研機構 北海道農業研究センター寒地作物研究領域長 入来規雄

1) 加工用多収米新品種「北瑞穂」
農研機構 北海道農業研究センター 主任研究員 松葉修一
(13:25~13:55)

2) 業務用多収品種「空育180号」
道総研中央農業試験場 生産研究部水田農業グループ 主査(水稻育種) 尾崎洋人
(13:55~14:25)

3) 米飯、米粉パン等の柔らかさを保持できる水稻の開発状況
農研機構 北海道農業研究センター 上席研究員 梅本貴之 (14:25~14:55)

4) 北海道米の業務用適性評価法
道総研中央農業試験場 作物開発部農産品質グループ 研究主幹 柳原哲司
(14:55~15:25)

休憩(試食：水稻品種「空育180号」の丼物)(20分)

5) 北海道米における業務用米・加工用米の実需者ニーズと生産・販売戦略
ホクレン農業協同組合連合会 米穀事業本部 米穀部 次長 荒島 規一
(15:45~16:15)

(3) パネルディスカッション (16:20~17:15)
座長：農研機構 北海道農業研究センター水田作研究領域長 春原嘉弘

パネリスト：各講演者

※活発なパネルディスカッションのために、普及関係者から地域での状況等を報告し、生産者、流通関係者とともパネリストと意見交換を行う。

(4) 閉会

【問い合わせ先】

○マッチングフォーラム事務局

〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

農研機構 北海道農業研究センター 企画管理部 研究調整役 川口健太郎

Tel. 011-857-9257 Fax. 011-859-2178